

モデルコース②「修験者と登拝」 富士山世界文化遺産 ご利益めぐりコース 1/2



富士浅間神社(須走口)




須山浅間神社(御殿場口)



富士山本宮浅間大社(銚立石)



静岡県富士山世界遺産センター

<p>コース特徴</p>	<p>世界文化遺産「富士山」構成資産について新たな魅力を見出し、新たな発見があるコース。芸術の源泉と文化の信仰としての富士山について触れられるコース。</p>
 <p>行程表の表示 主に徒歩による移動を想定 ===== 車等による移動を想定</p>	<p>各地 = 富士浅間神社（須走口）（見ざる言わざる聞かざる、三戒の浅間神社） = = 須山浅間神社（ハートの灯籠のある、室町時代頃からの浅間神社） = = = = = ※可愛らしくも日本古来からの伝統が垣間みられる場所のひとつ</p> <p>= 富士山かぐや姫ミュージアム（富士山頂に帰って女神となるかぐや姫伝説の由来） = = ※2016年4月リニューアル、富士山の御祭神でもあったかぐや姫の由来を見られる</p> <p>= 富士山本宮浅間大社……静岡県富士山世界遺産センター = 各地 ※ご神木は境内の桜樹たち、桜の開花は、御祭神コノハナサクヤヒメの御神徳によるものとされている。</p>
<p>キーワード「修験者と登拝」</p>	<p>12世紀頃になり富士山の噴火活動が鎮まったことから、修験者と呼ばれる宗教者たちは、富士山を山岳修行の地として、富士山の神仏から霊力を得るために山頂を目指す「登拝」を志すようになっていきました。14世紀以降になると登拝の文化が広がり、道者と呼ばれた庶民の信者も、修験者に導かれて登拝を果たすようになりました。須山浅間神社、富士浅間神社など登山口の浅間神社を拠点とする各登山道の整備が進みました。</p>
<p>移動手段</p>	<p>マイカー／タクシー</p>

関連施設所在地

施設名	所在地	アクセス等
富士浅間神社(須走口)	静岡県駿東郡小山町須走126	東名高速道路・御殿場ICから約15分
須山浅間神社	静岡県裾野市須山722	東名高速道路・裾野市ICから約15分
富士山かくや姫ミュージアム	静岡県富士市伝法66番地の2	西富士道路 大淵・広美ICから約3分 JR富士駅・吉原駅・新富士駅から約20分 ※休業日 月曜（祝日の場合は開館）、祝日の翌日、年末年始
富士山本宮浅間大社	静岡県富士宮市宮町1-1	新東名高速道路・新富士ICから約15分、JR富士宮駅から車で約3分または、駅から徒歩で約10分
静岡県富士山世界遺産センター	静岡県富士宮市せせらぎ広場及び周辺地	(外部リンク 静岡県ホームページ http://www.pref.shizuoka.jp/bunka/bk-150/fujisanwhc-top/fujisanwhc-top.html)

※最新の施設情報・費用等、事前に十分確認いただいたうえ、御自身の責任で訪問されるようお願いいたします。

※移動方法は例示となります。また、移動時間も実際の交通状況等により変動しますので御注意ください。



須山浅間神社
猪目(ハート)の灯籠から覗いた本殿

本コースにおける世界遺産構成資産

- ・**富士浅間神社(構成資産6)** 延暦大噴火を受けて807年に造営されたと伝えられる浅間神社。須走口登山道は富士講信者の巡拝に利用されました。
- ・**須山浅間神社(構成資産5)** 須山口登山道の起点とされた浅間神社。この道は宝永大噴火で大きな被害を受けました。
- ・**富士山本宮浅間大社(構成資産2)** 全国の浅間神社の総本社。噴火を鎮めるために浅間大神を祀ったことを起源とし、(社伝によると) 806年に現在の地に社殿を移しました。